

# 施政方針

「人と歴史が奏でる  
自然豊かなやすらぎと健康のまち」



市長 うるま 恒男  
知念 恒男

3月2日、市議会定例会が開会し、知念恒男市長が平成21年度の市政に対する基本方針と主要施策の概要を発表しました。

## はじめに

本日、第44回うるま市議会定例会が開催されるにあたり、私の市政に対する基本方針と主要施策の概要を申し上げます。

私は、次期市長選へ立候補しない旨、意思表示しましたが、これまで職務を全うできましたのも、市民の皆様をはじめ議員各位のご理解、ご協力の賜と深く感謝を申し上げます。また、創意工夫を重ねながら共に市政を担ってきた職員に対し厚くお礼申し上げます。

市長としての任期も5月14日をもって満了いたしますが、継続事業や補助事業との関係から、市政執行者として行政の遅滞はいささかなりとも許されるものでないとの認識に立って、新年度予算を編成し提案いたしました。

さて、昨年のサブプライムローン問題に端を発した世界金融融危機は、日本市場を大きく揺るがし、歴史的な株価低迷が続く中、経済にも深刻な影響を与えております。

このような経済不況の中にあつて、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しくなること

が予想され、地方分権改革や道州制の動きなど混迷の様相を帯びております。

地方自治体は、いま大きな転換期にあり、今後、直面する課題の解決に向かって、自ら主体的に判断し、行動し、解決する資質や能力が求められてくるものと考えております。

私は、市町村合併をはじめ行政改革に取り組みとともに、人材育成にも力を注いでまいりました。

合併後は、新生うるま市の長として「うるま市の豊かな自然と地域で育まれてきた歴史・伝統文化」を大事にし、地域の魅力を可能な限り引き出し、市民との信頼関係を構築するとともに、均衡ある市の発展を目指して、施策を推進してまいりました。

また、魅力ある地域を創造するため「地域の力」を活用し、個性的で全国に誇ることのできる「環境の力」と「健康の力」を磨きつつ、これらを生かした魅力あふれるまちづくりを進めるため、

1 人と自然にやさしい基盤と

環境を育てます。

2 郷土に誇りを持ち、明日のうるま市を支える人を育て

ます。

3 うるま市の魅力を生かした産業を育てます。

4 誰もが健康で、互いに助け合える地域を育てます。

5 市民とともに考え、築き上げるまちを育てます。

の5つを基本方針として、「健康・長寿を創造し、いやしのまちづくり」をテーマに、市民と行政とのパートナーシップによる協働のまちづくりを目指してまいりました。

その結果、住環境の整備や学校施設の整備、住民福祉の向上を図るとともに、健康福祉センター（「うるまん」）の建設、人材育成の拠点となる「ぐしかわ看護専門学校」の誘致、うるま市IT事業支援センター整備や地域提案型雇用創出事業などによる雇用機会の創出に加え、中心市街地の活性化を図る安慶名再開発事業、魅力ある観光資源を活用した観光商品流通促進事業、地域の安全を図るための防災行政無線の整備および大型高所放水車兼はしご車等の配備など幅広い分野での基盤強化が図られたものと考えております。

また、急速な景気後退による失業者問題については、「うるま市緊急雇用対策本部会議」を